

平成20年度 高知県における高齢者虐待件数の公表

1. 養介護施設従事者等による高齢者虐待についての対応等状況

(1) 相談・通報件数と虐待の事実が認められた件数

平成20年度に市町村が受け付けた養介護施設等従事者による高齢者虐待に関する相談・通報件数は8件であり、そのうち虐待の事実が認められた事例は5件であった。

相談・通報件数	8件
虐待の事実が認められた件数	5件

(2) 虐待の事実が認められた施設種別

虐待の事実が認められた5件の内訳は、全国的の状況と同様に認知症対応型共同生活介護施設・特別養護老人ホームの順であった。

施設種別	件数
特別養護老人ホーム	2件
認知症対応型共同生活介護施設	3件

(3) 虐待の種別・類型

	身体的虐待	介護等放棄
件数	4件	1件

(4) 被虐待者の状況

①性別

全国的に見ても、女性の割合が高い。

	男性	女性
人数	0人	5人

②年齢

全国的にも割合の高い80～94歳が被虐待者となっている。

	80～84歳	85～89歳	90～94歳
人数	3人	1人	1人

③要介護状態区分

全国的にも割合の高い要介護2～5を被虐待者が占めている。

要介護度	人数
要介護2	1人
要介護3	1人
要介護4	2人
要介護5	1人

(5) 虐待の事実が認められた事例への対応状況（複数回答有）

虐待の事実が認められた全事例に対して改善計画を提出させている。

対応の種類		件数
市町村による指導等	施設等に対する指導	2件
	改善計画提出依頼	5件
介護保険法または老人福祉法の規定による権限の行使	改善勧告	1件
当該施設等における改善措置	施設等から改善計画の提出	5件
	勧告・命令等への対応	1件

2. 養護者による高齢者虐待についての対応状況等

(1) 相談・通報件数と虐待の事実が認められた件数

平成20年度に市町村で受け付けた養護者による高齢者虐待相談・通報件数は218件で、そのうち虐待の事実が認められたのは112件であった。虐待件数の高齢者数に占める割合は、全国とほぼ同様の0.052%である。

相談通報件数	218件
虐待の事実が認められた件数	112件

※夫婦で虐待を受けていた事例が1件あり、人数との差になっている。

(2) 虐待の種別・類型（複数回答有）

全国と同じく「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」「経済的虐待」が多くなっている。全国では「介護等放棄」の方が「経済的虐待」を上回っている。

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
件数	65件	34件	51件	0件	37件
構成割合	58.0%	30.4%	45.5%	0%	33.0%

(3) 被虐待者の状況

①性別

全国割合に比べて、男性の割合が約10%ほど高い。

性別	男性	女性	合計
人数	36人	77人	113人
割合	31.9%	68.1%	

②年齢

「80～84歳」が最も多く、次いで「75～79歳」「85～89歳」となっている。

年齢	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	合計
人数	8人	15人	25人	26人	24人	15人	113人
割合	7.1%	13.3%	22.1%	23.0%	21.2%	13.3%	

③要介護認定者数

約8割が認定済みである。

認定状況	人数	構成割合
未申請	20人	17.7%
申請中	3人	2.7%
認定済	88人	77.9%
認定非該当	2人	1.8%
合計	113人	

④要介護認定者の要介護状態区分・認知症日常生活自立度

要介護度1～4が多い。また、要介護認定者における認知症日常生活自立度「Ⅱ以上」の者が約72%を占め、被虐待高齢者全体の約56%を占めている。

要介護度	人数	構成割合	認知度	人数	構成割合
要支援1	5人	5.7%	自立・認知症なし	5人	5.7%
要支援2	10人	11.4%	自立度Ⅰ	19人	21.6%
要介護1	18人	20.5%	自立度Ⅱ	29人	33.0%
要介護2	19人	21.6%	自立度Ⅲ	25人	28.4%
要介護3	18人	20.5%	自立度Ⅳ	7人	7.9%
要介護4	12人	13.6%	自立度Ⅴ	2人	2.3%
要介護5	6人	6.8%	認知症有無不明	1人	1.1%
合計	88人		合計	88人	

(4) 虐待者との同居・別居の状況

虐待者と同居の者が約75%である。

	虐待者と同居	虐待者と別居	その他
件数	84件	27件	1件
割合	75.0%	24.1%	0.9%

(5) 世帯構成

「未婚の子と同一世帯」が約40%を占めている。

	単身世帯	夫婦二人	未婚の子と同一世帯	既婚の子と同一世帯	その他	合計
件数	17件	19件	44件	20件	12件	112件
構成割合	15.2%	16.9%	39.3%	17.9%	10.7%	

(6) 虐待者と被虐待高齢者との続柄（複数回答有）

虐待者は、「息子」が約63%を占めている。次いで、全国では「夫」の割合が高いが、高知県では、「娘」が上回っている。

	夫	妻	息子	娘	息子の配偶者	娘の配偶者	孫	その他
人数	12人	7人	71人	20人	8人	2人	2人	4人
割合	10.7%	6.3%	63.4%	17.9%	7.1%	1.8%	1.8%	3.6%

(7) 虐待への対応策（複数回答有）

虐待への対応として、「養護者への助言・指導」を行っている事例が最も多く、次いで約35%が「虐待者からの分離」を行っている。

対応種別	件数	割合
養護者に対する助言・指導	44件	39.3%
養護者自身が介護負担軽減のための事業に参加	1件	0.9%
被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	15件	13.4%
被虐待者のケアプラン見直し	19件	17.0%
被虐待者が介護保険以外のサービス利用	9件	8.0%
見守り	18件	16.1%
虐待者からの分離	40件	35.7%
その他	11件	9.8%